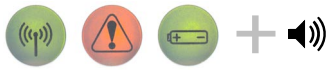
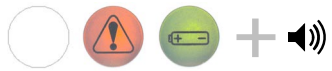
Avalon CTS コードレス分娩監視トランスジューサ・システム

警告表示 / 警告音と対処方法

ベース・ステーションの警告： 単独で、または左右のインジケータの表示に伴って点滅。 ランプのオフまたは点灯を示す。

アラーム音がオンに設定されている場合はアラーム音が鳴る。アラーム音を止めるには、C を押す。

トランスジューサの警告： 問題の発生箇所を示すアイコンの表示に伴って点滅。

警告表示 / 警告音		対処方法
ベース・ステーション	トランスジューサ	
		トランスジューサをドック接続してバッテリーを充電するか、または充電済みのトランスジューサに交換します。 30 分間充電しても問題が解決しない場合は、トランスジューサのバッテリーを交換してください（『Service Guide』も併せてご覧ください）。
		
		トランスジューサがアクティブで、受信範囲内にあることを確認します。 また、アンテナの接続を確認します。
		C を 2 秒間押して、スロットのブロックを解除します。
ベッド・ラベル（例）		このスロットには別の**アクティブな**トランスジューサ（左の例では ″38″）が登録されています。 **まず**、そのトランスジューサをドック接続して、伝送を中止してください。 **または** トランスジューサにベッド・ラベル（左の例では ″16″）が表示されている場合は、トランスジューサを、登録されたベース・ステーションのスロットに戻してください。
ベッド・ラベル（例）	ベッド・ラベル（例）	
		弊社修理受付窓口にお問い合わせください。 （トランスジューサの登録ができなかった場合）
		心電図用トランスジューサがアクティブな場合は、ケーブルを接続します。 丸印で示された位置のスロットにトランスジューサをドック接続します。（トランスジューサが正しいスロットに接続されていない場合）
ベース・ステーションとトランスジューサのエラー・メッセージ（E0 ～ E9）：『ユーザーズ・ガイド』をご覧ください。		

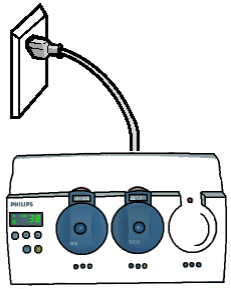
© 1995-2006 Koninklijke Philips Electronics N.V.
All Rights Reserved.
Printed in Germany, April 2006
Part Number M2720-9040B
4512 610 14991

Philips Medizin Systeme Boeblingen GmbH
Hewlett-Packard-Str.2
71034 Boeblingen, Germany

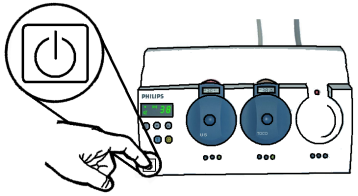
PHILIPS

Avalon CTS コードレス分娩監視トランスジューサ・システム
クイック・スタート・ガイド

1 100 V AC



2 電源を入れます。

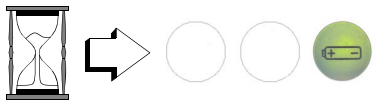


3

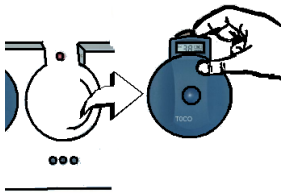
TELE

分娩監視装置に、Avalon CTS と正しく接続されていることを示す "TELE" が表示されていることを確認します。

4 「準備完了」ランプが点灯するまで待ちます。

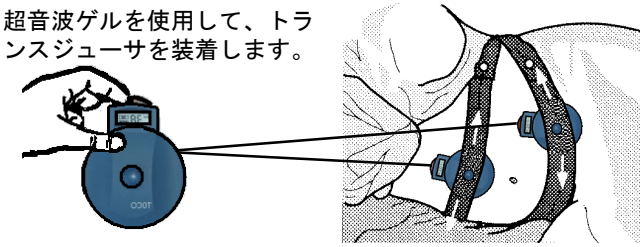


5 トランスジューサを外します。



「準備完了」ランプが消灯し、「無線リンク」ランプが点灯します。

6 超音波ゲルを使用して、トランスジューサを装着します。



良好な信号が得られたら、トランスジューサをベルトに固定します。

（Avalon 分娩監視装置の場合）

（シリーズ 50 分娩監視装置の場合）

超音波から DECG への切り替え	
1	心拍用（超音波）トランスジューサをドック接続します。
2	ドック接続されているスロットの インジケータが緑になったら、心電図用トランスジューサを取り外します。
3	心電図用アダプタケーブルとディスポーザブル・スパイラル児頭電極を、心電図用トランスジューサに接続します。
4	DECG モニタリングを開始します。

DECG から超音波への切り替え	
1	心電図用アダプタケーブルとディスポーザブル・スパイラル児頭電極を、心電図用トランスジューサから取り外します。
2	心電図用トランスジューサをドック接続します。
3	ドック接続されているスロットの インジケータが緑になったら、心拍用（超音波）トランスジューサを取り外します。
4	超音波モニタリングを開始します。

分娩監視装置からすべての有線トランスジューサを取り外してから、Avalon CTS を使用してください。

胎児心拍数(FHR)をモニタリングする2つのトランスジューサが同時にアクティブになり、同じベース・ステーションに伝送を行った場合は、エラー・コードE9が表示されます。エラーを解除するには、どちらかのトランスジューサをドック接続します。

使用後：トランスジューサのクリーニングを行い、ベース・ステーションの適切なスロットにドック接続します。